

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	2	職員の配置数は適切であるか	60	40		休みを取ることがためられるので、職員の数が適正であるとは言い難い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60	40		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40	60		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80	20		ホームページができたが、業者に修正等を依頼しているので時間がかかってしまう。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		20	80	第三者委員会はないものの、保護者にアンケートを実施して業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60	40		オンライン等での研修を受ける機会は確保されているが、外部研修は職員が少なくなると厳しい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			毎月の話し合って立案を作成し、保護者との面談通して計画作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80	20		標準化されたアセスメントツールは全員ではないが、契約時等に利用者から情報提供してもらい、所内のアセスメントシートと合わせて職員間で情報共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60	40		会議等でスタッフ全員で相談し、意見を出し合って作っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	40	60		相談して工夫はしているが、同じような内容の活動が多くなってしまう。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80	20		会議等や毎日のミーティングでスタッフ全員で相談し意見を出し合って作っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			支援開始前にミーティングを行い、確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80	20		基支援終了後にミーティングを行っているが、業務が長引いた時等は翌日に行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			その日のうちに記録を心がけている。定期的に記録して中身を確認している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			モニタリング日を決めて毎月行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	60	40		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			児発管だけでなく現場のスタッフも一緒に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80	20		ご家族の協力もあり出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20	40	40	該当する児童がいないので、受け入れる場合は体制を整える必要はある。てんかん発作の利用者を受け入れているが、家族との協力のもと連絡体制をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20	40	40	ご家族と相談員さんからの情報になっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40	20	40	移行先から問い合わせがあった時は情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20	20	60	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		40	60	平日はに交流が難しいが長期休み時に外出先で交流する機会があった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40	20	40	自発管が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			面談や送迎時やお迎え時に情報交換等をしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		60	40	助言やアドバイスはしているがペアレントトレーニング等を行っていない。必要性は感じるので研修に参加し支援を行える体制を整えたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80	20		契約時等に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80	20		面談時や来所時、電話等では相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100	実施できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80	20		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			広報誌にて活動内容や毎月の壁面制作を写真を入れて配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100			同意書を頂き、各々に合わせて写真を加工したり、書類等はシュレッターにかけたりして注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80	20		一方的にならないように配慮して対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		20	80	地域に開かれた事業所を目指しているが、一緒に出来る行事等がなかなか出来ていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60	40		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80	20		3月と9月に実施しているが平日は利用時間の兼ね合いもあるので、長期休みの月に実施できるよう変更した方が良いのでは。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80	20		入社時に研修すると会議時の研修が行っているが、外部の研修にはスタッフ数や時間帯によって参加しにくい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		20	80	身体拘束等の禁止の話し合いや研修等はあるが、該当する児童がいないので計画にも記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		20	80	契約時等に確認して該当する児童がいないので必要に応じて今後実施していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80	20		ヒヤリハット報告書にて共有しているが、事例は少ない。